

令和5年度第2回倉敷市社会教育委員会議 会議録

(開催日時) 令和6年1月30日(火) 14時30分～15時30分

(開催場所) ライフパーク倉敷 中ホール

(報告) (1) 教育行政重点施策・教育行政主要事業の取組
—令和5年度の取組状況—

(出席者) 委員13人・欠席2人(別紙:社会教育委員名簿 参照)、事務局9人

(傍聴者) なし

(会議内容) 以下のとおり

1 開会

2 挨拶

・教育長による挨拶

3 報告

(1) 教育行政重点施策・教育行政主要の取組について

—令和5年度の取組状況—

・事務局からの説明

社会教育分野の主要事業・重点事業を掲載した資料をもとに、生涯学習部関係の重点施策・主要事業の主な事業について、令和5年度の取組状況を説明。

事前質問5件について、資料「質問に対する回答」のとおり回答。

【議長】 このほかに質問や意見はないか。

【委員】 公共施設のWi-Fiの件について、ライフパーク倉敷は携帯の電波が入りにくい。このような会議の時に、調べようと思ってもつながらない。貸出ではなく、常に使えるような配慮が必要ではないかと思う。

➡意見としての発言。回答不要。

また、「二十歳の集い事業」について、マスカットスタジアムでは、参加しづらい障がい者の方がいる。マスカットスタジアム内の別会場を用意するなど、障がいの有無に関わらず、参加が出来るような取組、配慮が必要だと思われるが、その点について意見を聞きたい。

【事務局】 「二十歳の集い」について、我々が気が付いてないことも多々あり、ご意見ありがとうございます。二十歳の集いは実行委員とともに考えて行っており、行政の職員も一緒になってやっています。来年度実行委員として参加する学生も決まっておりますので、市の方から、問題提起させていただいて、一緒に考えていきたいと思っています。

【委員】

是非前向きに考えていただきたい。実行委員には、倉敷支援学校の卒業生も、倉敷まきび支援学校の卒業生も入っていない。そういった声を代弁する実行委員もいない。その方々から実行委員を選べというわけではないが、是非そういった声、保護者の想いも組み込んで企画をしていただきたい。

4 その他

5 閉会

- ・生涯学習部長による挨拶

- ・会議終了後、科学センター視察

令和5年度第2回倉敷市社会教育委員会 質問に対する回答

対象事業名・件名等	ページ	質問内容	担当部署	回答
1 自然の家PFI施設整備運営事業	P11	主催事業で教員のための山の学習は、他の事業に比べ4人というのは、開催時期や告知等によるのか、定員が少なかったのが気になった。	生涯学習課	教員のための山の学習につきましては、4月15日から1泊2日のスケジュールで企画し、市内小・中学校にメールとFAXで告知しました。新採用等の「山の学習」の経験が少ない教員に向けてのプログラムであることから対象者が限定されること、また、宿泊を伴っていたことから参加者が少なかったと考えられるため、令和6年度は日帰りでの実施を検討しています。
2 生涯学習活動推進事業	P12	講座等の実施で、前年度101講座に比べ、今年度は65講座と約6割になっているがなぜか。どのような講座が減らされたのか教えていただきたい。	市民学習センター	令和4年度は、コロナ禍で開講延期としていた令和2・3年度企画の講座を例年の講座に加えて実施したため、例年に比べて増加しており、今年度、講座数を減らしたわけではありません。
3 子ども読書活動推進事業	P13	読み聞かせボランティア入門講座で延べ27人の参加とあるが、それぞれの地域で活動されているのか教えていただきたい。また、既存の読み聞かせグループへの紹介や交流はされていますか。	中央図書館	これまで受講された方の中には、図書館をはじめ、地域の小学校・幼稚園で、読み聞かせボランティアとして活動されている方もいます。また、今後の活動や学びにつながるよう、講座受講時に、図書館の毎日のおはなし会やボランティアのおはなし会、読み聞かせや絵本の勉強会を紹介しています。
4 ぐらしき市民講座実施事業	P30	今後の方針3 地元産！味噌を作ってみよう！（備中県民局 備南広域農業普及指導センター）に関連した講座は年間4講座あると思うが、紙面の関係で割愛されたのでしょうか。	市民学習センター	備中県民局 備南広域農業普及指導センターと連携して、例年「旬料理」「味噌作り」「ばら寿司作り」「豆腐作り」の4講座を実施しています。このうち、旬料理講座を4月20日、ばら寿司作り講座を9月6日、豆腐作り講座を10月18日に既に実施しており、味噌づくり講座のみ、2月15日に実施予定です。そのため、今後の方針に記載しています。
5 子育て支援コーナー整備事業	P34	子育て支援コーナーの充実に向けて、図書の実室もですが、お話し会など従来して下さっている、親子で参加できるもの、外部に出てされている活動についても、引き続きしてほしいです。各々の参加状況について教えてほしいです。今、親子にむけた対外的にされている活動についても、詳しく教えてほしいです。	中央図書館	0～2才児とその保護者を対象としたわらべうたやおはなしの会をはじめ、科学遊びや工作、ベビーマッサージ等、親子で楽しめるイベントを市内全館で923回実施し、9,554人の参加がありました。また、出前講座として、地域の子育てサロンや子育て支援センターへ4回出向き、53人の親子に向けておはなし会を実施しました。それ以外にも、子どもに読む本を選ぶ参考にしてもらうため、0～2才、2才～6才、小学生、それぞれの対象年齢ごとのおすすめ本を紹介したリーフレット・冊子の作成・配布や、おすすめのおはなし絵本をセットにして貸出するサービスを行っている館もあります。

◆その他いただいたご意見(情報共有)

対象事業名・件名等	ページ	意見
1 いきいきバスポート事業 高梁川流域バスポート事業	P15 P16	事業の予算の出所が異なり難しいかもしれませんが、2事業とも対象地域や対象者が異なりますが、地域の社会教育施設等の利用が無料になるバスポートの配布ならびにスタンプラリーの実施の内容です。関係市町との協議が必要となりますが、高梁川流域圏域10市町の小学生・中学生を対象にバスポートを配布ならびにスタンプラリーの実施というように1つの事業にまとめてほしいのでしょうか。
2		子ども対象、親子対象にしたものが少ないと感じています。様々な施設を若い世代が利用しやすい場づくり、参加できる企画をしていくことが、長い目でみて、大切なのかと考えます。新たに作られる市民交流ゾーンに子育てブース、そこには保育士をはじめ子育ての専門職がいる場所ができることを望みます。
3		公民館でのWiFi設備を整えていただきありがとうございます。おかげさまで、接続の心配なく倉敷から発信して、全国の方に参加していただくことができました。
4		大量の事業を2回の会議で把握して意見を述べる仕組みに、難しさを感じます。「充て職」による「委員」には、当事者意識も希薄になりがちです。実行性のある会議となるような、議論が必要だと感じています。